

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	こども・若者育成支援推進事業				事業番号	014-040	
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども家庭課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	④ひきこもりへの取組			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	ひきこもり対策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画			堺市こども計画				
3	事業開始年度			平成 22 年度	点検対象年度（個別計画）		令和 8 年度	
4	実施根拠			子ども・若者育成支援推進法、次世代育成支援対策推進法				

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁					
6	事業の対象		1. 堺市在住の49歳以下で、次の状態にあるこども・若者 ①ひきこもり ②不登校 ③ニート ④非行 ⑤ヤングケアラーなど 2. 上記困難を抱える子ども・若者の保護者				対象数	単位
							-	-
7	事業の目的		困難を抱えるこども・若者が健やかに成長し、社会生活を円滑に営むことができるよう支援する。					
8	事業内容		1. 困難を抱えるこども・若者やその保護者への相談、支援 2. 各専門機関、NPO法人、ボランティアグループ等関係機関との連絡調整（継続相談者には、居場所や就職準備のプログラムの提供） 3. 教育・就労などに関する情報や、NPO法人等の支援活動、体験活動の情報収集・情報発信 4. アクティビティ（コミュニケーショントレーニング等）、就職準備講座、就業体験等の実施 5. ニート状態の若者の就労相談・就労支援・定着支援の実施 6. 市民及び関係機関への啓発研修					
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—					
9	主な支出先		—					
10	公民連携・協働事業		—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
11	堺市ユースサポートセンターでの新規相談者数	人	目標値	—	—	—	—
			実績値	426	423		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	困難を抱える子ども・若者やその保護者等からの相談がその後の支援、また、解決につながるきっかけとなるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	相談件数の増減により困難を抱える子ども・若者やその保護者等からの相談がその後の支援や解決につながったかを計ることは難しいため、目標は設定しない。 ※令和8年度から指標変更					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	堺市ユースサポートセンターによる講演会参加者数	人	目標値	—	—	101	
			実績値	111	84		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	講演会の実施及びPRが、相談につながるきっかけとなるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	直近3年度分の実績値の平均値+3%を目標値とする。 ※令和8年度から指標変更						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	こども・若者育成支援推進事業	事業番号	014-040
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量														
事業コスト														
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）														
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度			令和8年度				
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算			
		事業費（a）	35,395		35,447		35,526		33,265		38,724			
		国支出金	13,981		12,186		12,023		10,853		11,198			
		府支出金	0		0		0		0		0			
		市債	3,600		900		2,000		2,000		2,000			
		その他（ ）	0		0		0		0		0			
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0			
		一般財源	17,814		22,361		21,503		20,412		25,526			
		14	人件費（b）	6,840		7,040		7,160		7,160		7,380		
15	年間経費（c）=(a)+(b)	42,235		42,487		42,686		40,425		46,104				
事業費の内訳														
（単位：千円）														
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源			
		ユースサポートセンター運営及び子ども・若者支援地域協議会運営委託	R7	決算	29,579	16,726		R7	決算					
			R8	予算	31,954	18,756		R8	予算					
		堺市青少年非行防止対策補助金	R7	決算	73	73		R7	決算					
			R8	予算	73	73		R8	予算					
		会計年度任用職員報酬	R7	決算	3,073	3,073		R7	決算					
			R8	予算	5,430	5,430		R8	予算					
		通勤費	R7	決算	163	163		R7	決算					
			R8	予算	312	312		R8	予算					
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	決算	377	377		R7	決算					
			R8	予算	955	955		R8	予算					
		Ⅳ. 事業の効率性												
		単位当たり経費												
		17	区 分	単位			令和6年度			令和7年度				
①	堺市ユースサポートセンターでの新規相談者数			人			426			423				
②	上記①にかかる年間経費			千円			40,747			38,685				
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位			95,650			91,454				
算出についての説明等														
Ⅴ. 評価														
費用対効果に係る所見														
18	困難を抱えるこども・若者への支援は、幼少期から青年期に至るまでそれぞれの課題があり、丁寧に向き合っていく必要がある。また、働くことに不安があったり、自分の適性にあった仕事を見つけない方など、働くことの悩みや相談についても1人1人に寄り添い対応していくことが求められる。 丁寧な対応が求められる状況に変わりなく、相談対応の質について担保していく必要がある。													
	（旧活動指標の達成状況） 旧活動指標：堺市ユースサポートセンターによるイベント参加者数（人） R6:目標値 270 実績値 492 達成率 182% R7:目標値 363 実績値 325 達成率 89%													
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）													
19	当該事業は、基本計画における暮らしを支えるセーフティネットの構築におけるひきこもりへの取組について以下の通り寄与している。 困難や課題を抱えるこども・若者に対する相談窓口を通じ、当事者やその家族に対する支援を行っている。当事者が困難や課題を乗り越えて、社会復帰や就職を目指すための職業体験やコミュニケーショントレーニング等の就職準備講座を実施している。 支援者や市民のひきこもりに対する正しい理解や対応を啓発する「ひきこもり支援講演会」を実施することで、ひきこもり等の困難を抱えるこども・若者が受け入れられ、社会復帰がしやすい環境づくりを提供している。													
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）													
20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、一定の相談実績を有し、ニーズがあることが認められる。また、関係機関との連携により適切な支援に早期につながる利用者や就労支援により実際に就職につながる利用者もいるなど、困難を抱えるこども・若者を支援する本事業は、自立に向けた支援に寄与する取組として必要性・有効性が高く、継続的な実施が望まれる。											
	有効性	■ 高い □ 低い												